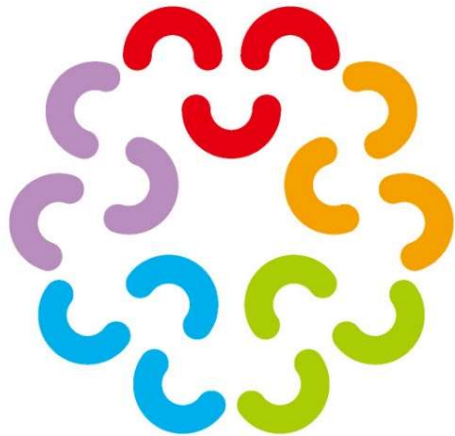


2025国際博覧会を 大阪・関西へ



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO 2025



World Expo 2025
Candidate



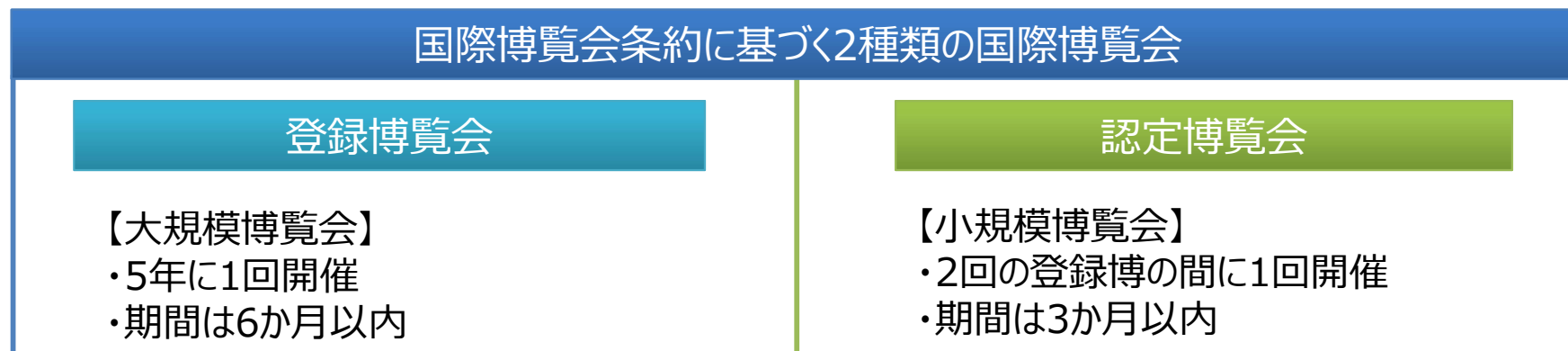
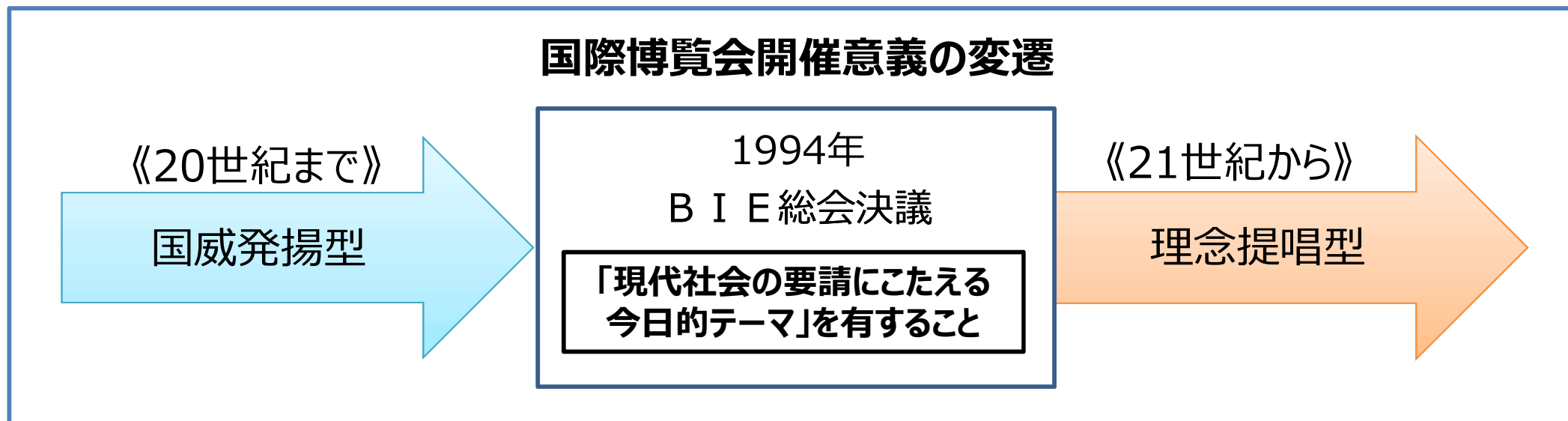
次第

1. 2025日本万国博覧会とは
2. 夢洲まちづくり構想について
3. 誘致活動について

1. 2025日本万国博覧会とは

国際博覧会（万博）とは

国際博覧会は、国際条約に基づく唯一の国際的イベントであるとともに、中央政府がその開催と参加の意思決定を行う国家的イベントである。



2025年に大阪が誘致をめざしているのは大規模な「登録博覧会」

<参考> 過去の日本で開催した国際博覧会

名称（開催年）	開催府県	テーマ	参加国・機関数	来場者数
日本万国博覧会 （1970）	大阪府	人類の進歩と調和	76カ国、 4国際機関	約6,400万人
沖縄国際海洋博覧会 （1975）	沖縄県	海－その望ましい 未来	36カ国、 3国際機関	約350万人
国際科学技術博覧会 （1985）	茨城県	人間・居住・環境と 科学技術	47カ国、 37国際機関	約2,000万人
国際花と緑の博覧会 （1990）	大阪府	－	82カ国、 55国際機関	約2,300万人
2005年 日本国際博覧会	愛知県	自然の叡智	121カ国、 4国際機関	約2,200万人

これまでの経過

- 2016年 6月 「2025万博誘致基本構想検討会議」設置
- 11月 「2025日本万国博覧会」基本構想案を策定、国へ提出
- 12月 2025国際博覧会検討会（経済産業省による）設置
- 2017年 3月 2025国際博覧会誘致委員会設立
- 4月 2025国際博覧会検討会報告書（経済産業省）
 - // 閣議了解
 - // 立候補表明文書（内閣総理大臣書簡）をBIE※に提出
- 9月 ビッド・ドシエ（立候補申請文書）をBIEに提出
- 2018年 3月 BIE調査団来日



BIEへの立候補表明文書提出

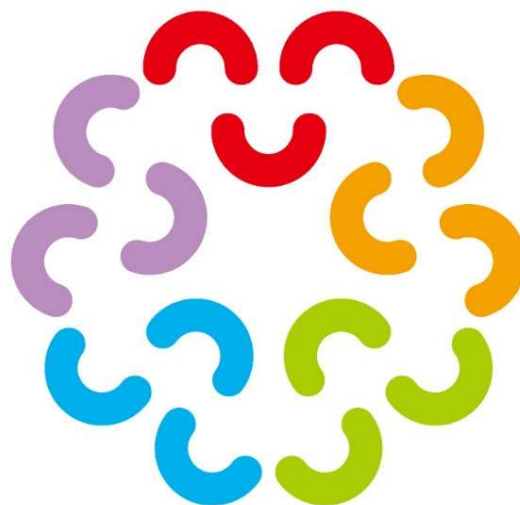


BIE調査団来日

（首相官邸HPより）

誘致ロゴマーク

■ 誘致ロゴマーク



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

【製作コンセプト】

「絵文字」をモチーフに、ニッコリと笑った人々が世界から集まってくるイメージで表現した。

【選考方法】

一般公募を行い、応募作品（応募総数：1,331件）の中から、一次審査、商標権・著作権調査、一般投票を経て、選定委員会により決定。

開催意義

世界にとって

- 国際博覧会を世界における未来社会の実験場とし、新たなアイデアを実践して、世界のイノベーションを加速させる場に

日本全体にとって

- 日本的価値を発信、人類共通の課題解決に貢献
⇒国際社会における日本への理解と信頼の向上
- 経済活性化、交流活性化によるイノベーション創出等

大阪・関西にとって

- ライフサイエンス分野、食、起業家精神等の強みを生かしたイノベーションの喚起
- 観光をはじめとする地域経済の活性化や中小企業の活性化 等



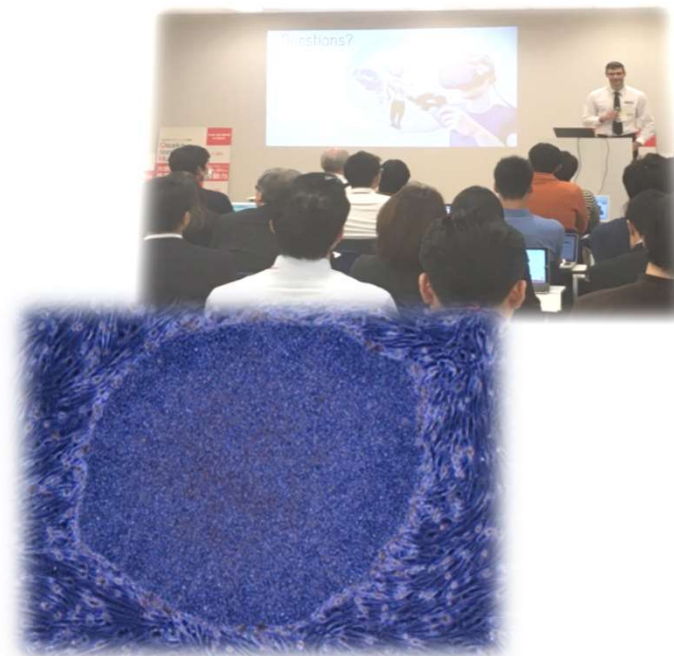
基本理念

1 これからの人類の生き方とは

～人類が創造してきたもの～

- グローバル化・情報化の中で、競争によって経済や科学技術が発展（一方で社会における対立の顕在化）
- 人工知能・バイオテクノロジー等の新技術が人類の更なる発展の可能性（一方で不安や迷い）

「幸福な生き方とは何か」



新たな発想や技術の力を活かして、解決策を示していけるはず！

2 人々の好奇心を刺激し、幸福な生き方と社会・経済システムの未来像を共創する。

- ・一人一人が望む生き方、それを支える社会・経済の未来像を参加者とともに提示
- ・参加者の行動を促し、新たな社会変革への動きにつなげるような万博へ



テーマ

■テーマ

「いのち輝く未来社会のデザイン」 Designing Future Society for Our Lives

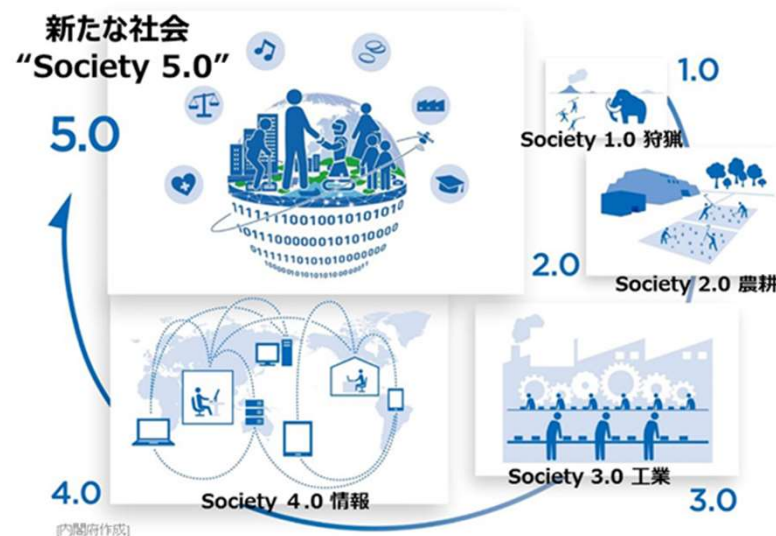
- ✓ 「人」(human lives) にフォーカス。
- ✓ 個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会のあり方を議論。
- ✓ 国連が掲げる2030年のSDGs※¹ (持続可能な開発目標) の達成に貢献。
- ✓ 日本は官民挙げて「Society5.0※²」を推進。IoT、AI等の先端技術をフル活用して課題解決。

※¹ SDGs (エスディー・ジーズ)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標 (詳細は次項)

※² Society5.0

サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会



(内閣府HPより)

2025年の意義

■ 2025年の意義

- 本万博は、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知を集める場となる。
- SDGs達成目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、その時点までの成果を振り返り、SDGs実現に向けた取り組みを加速する極めて重要な年。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



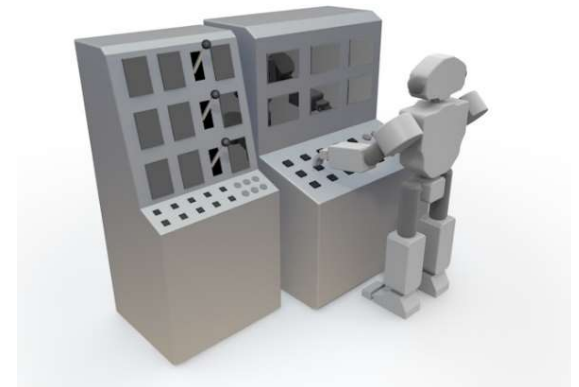
SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

コンセプト

■コンセプト

「未来社会の実験場」 People's Living Lab

- ✓ 展示を見るだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- ✓ 開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- ✓ 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信。



開催概要

EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

■ 開催期間

2025年5月3日（土）～ 11月3日（月） 185日間

■ 開催場所

夢洲（ゆめしま）

※ 大阪市西部の人工島

■ 入場者（想定）

約2,800万人

■ 開催経費

<会場建設費>

約1,250億円（想定）

<運営費>

約820億円（想定）



夢洲

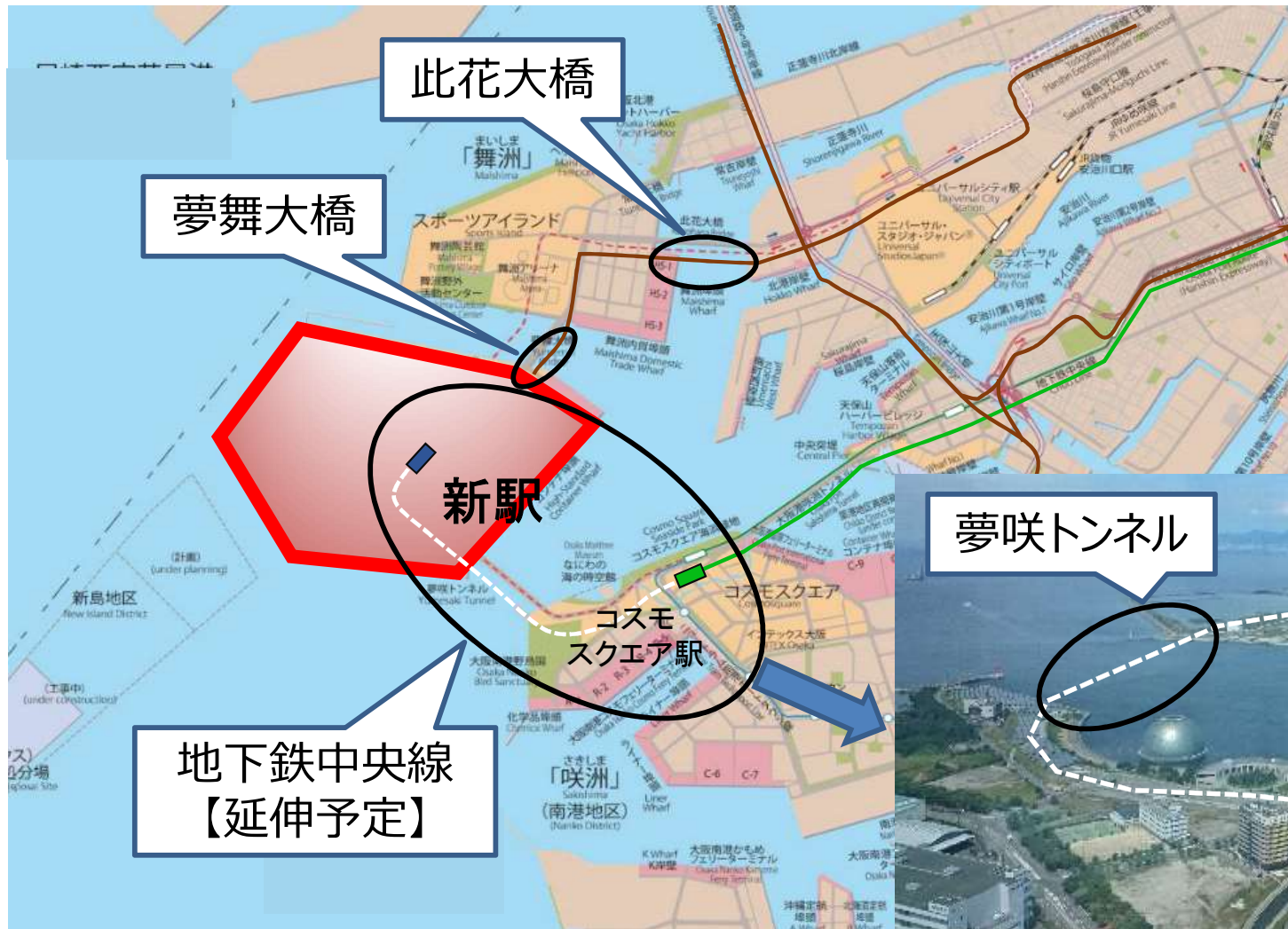
万博会場予定地

- ✓ 会場予定地の“夢洲（ゆめしま）”は大阪市ベイエリアの埋立地
- ✓ 会場規模は155ha



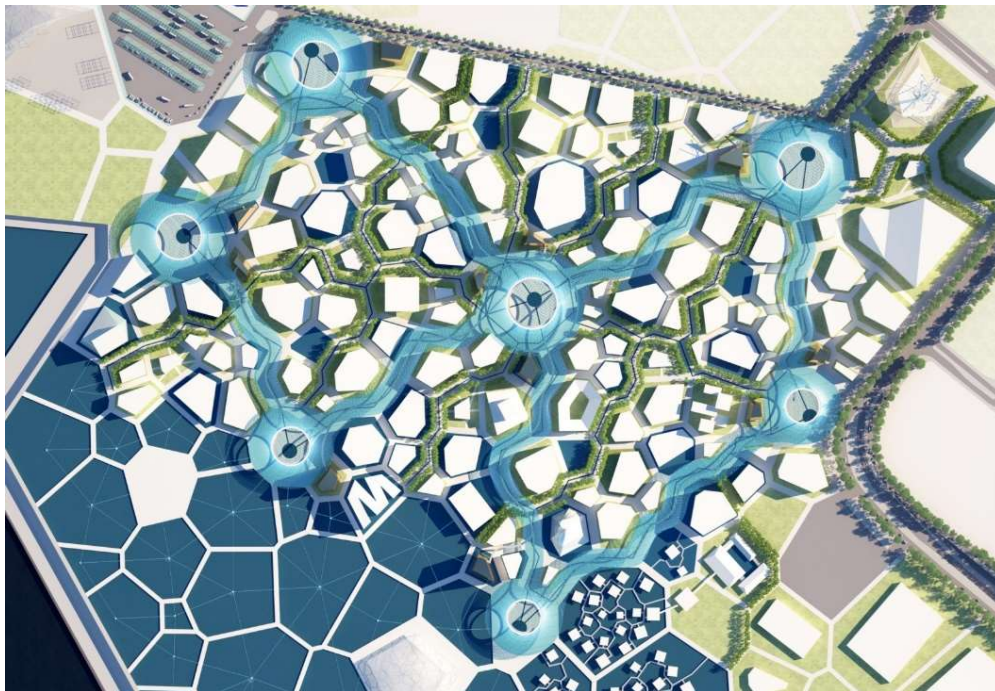
万博会場予定地

- ✓ 夢洲は橋やトンネルで都心部と接続。鉄道の延伸も計画

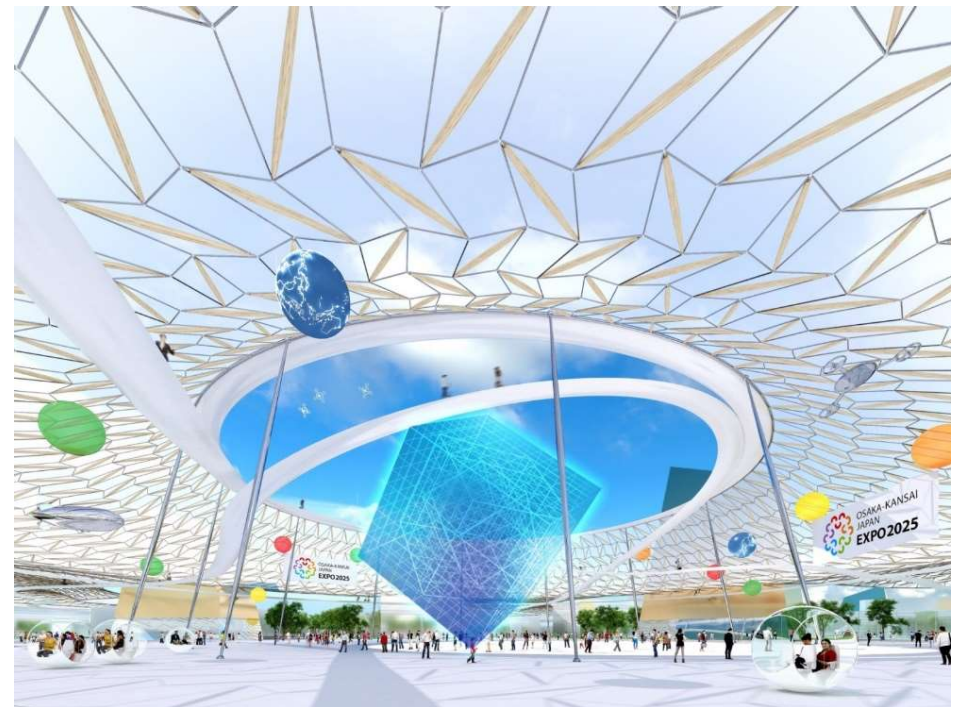


会場イメージ①

- ボロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない分散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。
 - 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。
-
- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
 - A R（拡張現実）・MR（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



（経済産業省作成）



（経済産業省作成）

（※）ボロノイパターン:自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。

会場イメージ②

- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に美しい景観が広がる。



(経済産業省作成)



(経済産業省作成)

会場へのアクセス

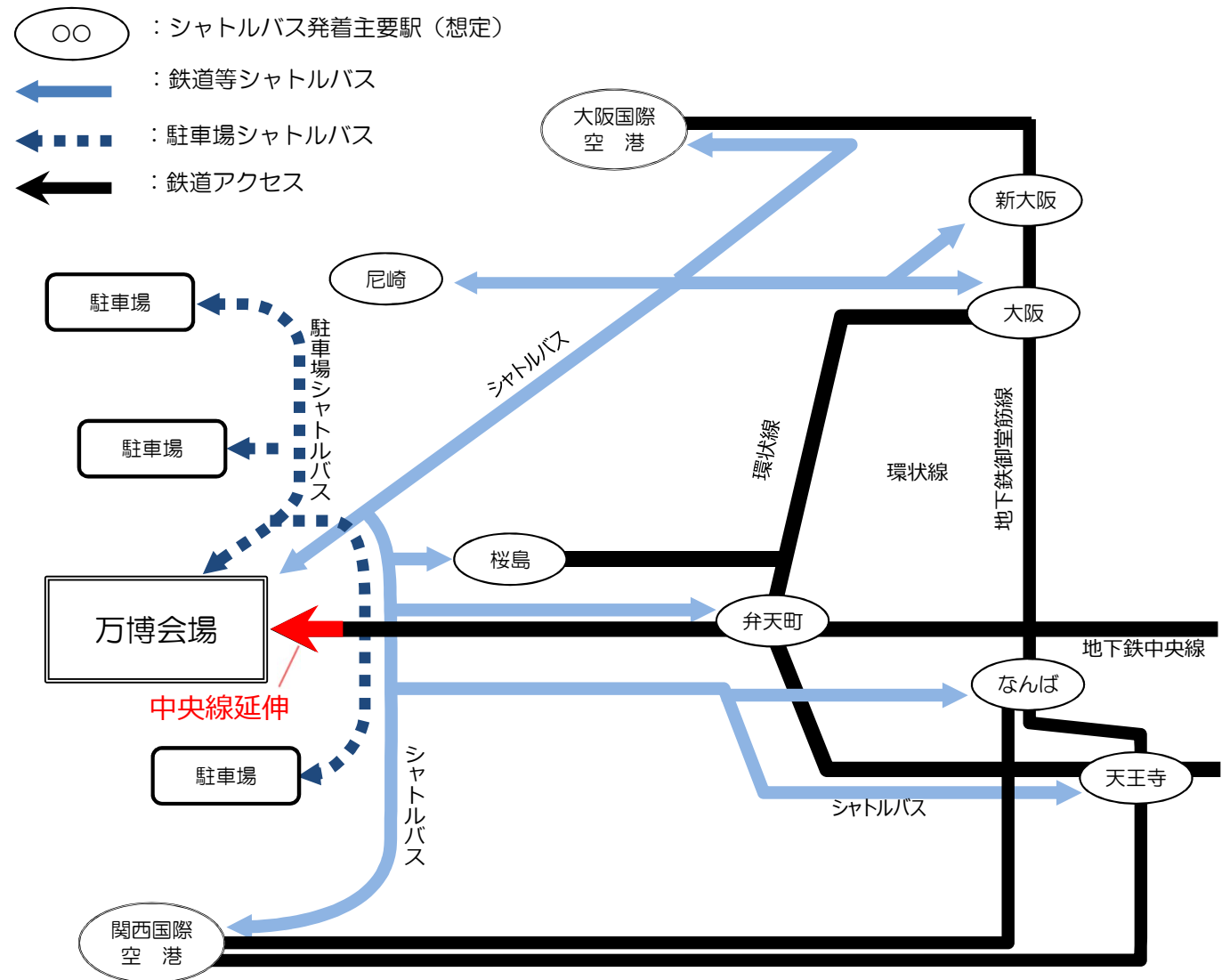
- 会場アクセスは、公共交通機関とシャトルバスを想定。

《公共交通機関》

- 地下鉄中央線の延伸に伴う
夢洲駅（仮称）へのアクセス
- 大阪市内主要駅から
シャトルバスを運行

《自家用車》

- 会場内には乗り入れなし
- 会場周辺部に整備された
駐車場からシャトルバスに
乗り換え、会場にアクセス



想定来場者数など



- ✓ 来場者のピークは、8月および閉会前の数週間を想定。
- ✓ 関西国際空港（KIX）は、大阪と世界24カ国82都市をつなぎ、海外からの来場者の主要な玄関口。
- ✓ 学生、団体用、高齢者用の割引チケットのプログラムを用意。
- ✓ 海外からの来場者に対しては、多言語サービスを提供。

（分析手法）

- ・国内の想定来場者数は、過去の国際博覧会の実績（建設費、投資額、近隣地域の人口、開催期間等）に基づいて重回帰分析を用いて算出。
- ・海外からの想定来場者数は、過去の国際博覧会における海外からの来場者数の比率（訪日外国人の総数に対する比率）を用いて算出。

■ 経済波及効果（試算値） 約2兆円

	建設費	運営費	消費支出※
費用 （最終需要額）	0.2兆円	0.3兆円	0.6兆円
全国への 経済波及効果	0.4兆円	0.5兆円	1.1兆円

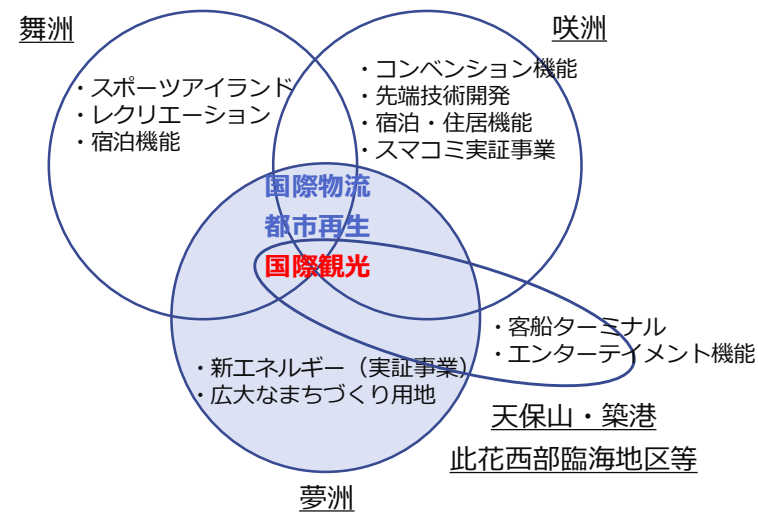
※ 消費支出：来場者等による交通、宿泊、飲食、買い物、サービス等への消費支出

国際博覧会開催により、国際博覧会のコンセプト等に関わる分野の市場伸長、企業の投資拡大、会場外・開催期間前後における観光・消費需要拡大、関連する大規模イベント開催等の間接的な誘発効果が発生するものと想定される。

2. 夢洲まちづくり構想について

夢洲まちづくり構想 ～新たな国際観光拠点の形成に向けて～

- 広大な用地の確保ができる夢洲のポテンシャルを最大限に発揮できるまちづくりをめざす。
- 臨海部の各エリアとの連携により、さらなる経済振興・都市魅力向上に資する拠点をめざす。



大阪の成長をけん引する新たな拠点の形成

～新たな国際観光拠点～

大阪の成長を支える既存拠点の充実

～国際物流拠点～

適切なゾーニングや都市基盤等の整備

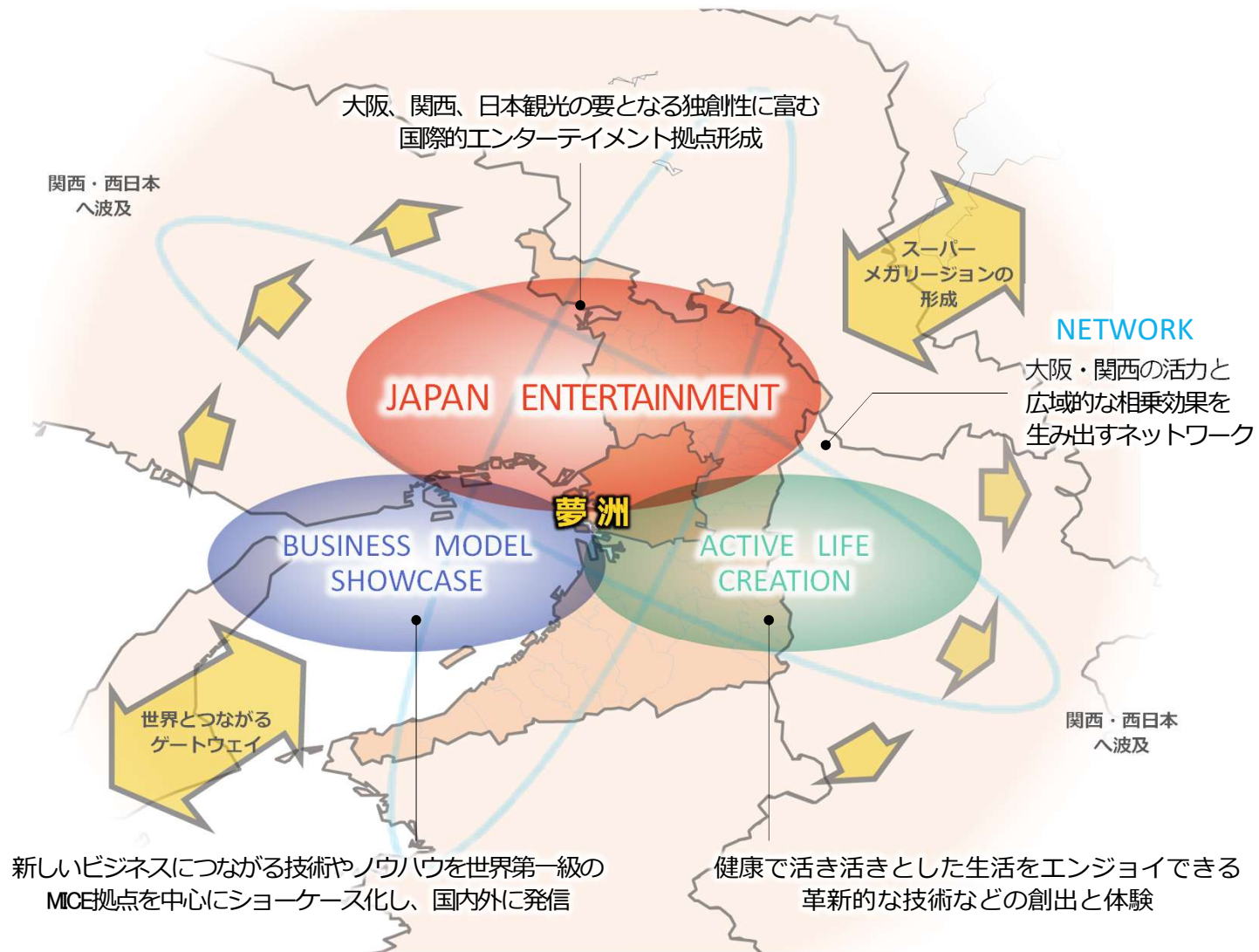
夢洲まちづくり構想 【国際観光拠点「夢洲」のコンセプト】

【コンセプト】

SMART RESORT CITY

夢と創造に出会える未来都市

【拠点形成のための都市機能】



夢洲まちづくり構想【まちづくりの方針】

土地利用 ▶ 世界で存在感を発揮するまちづくり

- 夢洲は、埋立途上であるため、短期～長期的な視点でのまちの将来像を見据えたゾーニング・土地利用を行う。
- 国際観光拠点の形成を、第1期（約70ha）、第2期（約60ha）、第3期（約40ha）と段階的に進める。
- 整備段階ごとに導入される機能が、相互に機能的・空間的に連携することで、まちの価値を連鎖的に高め、夢洲のコンセプトである「SMART RESORT CITY」を実現する。

駅を中心にエンターテインメント、レクリエーション、産業ビジネス機能等を配置

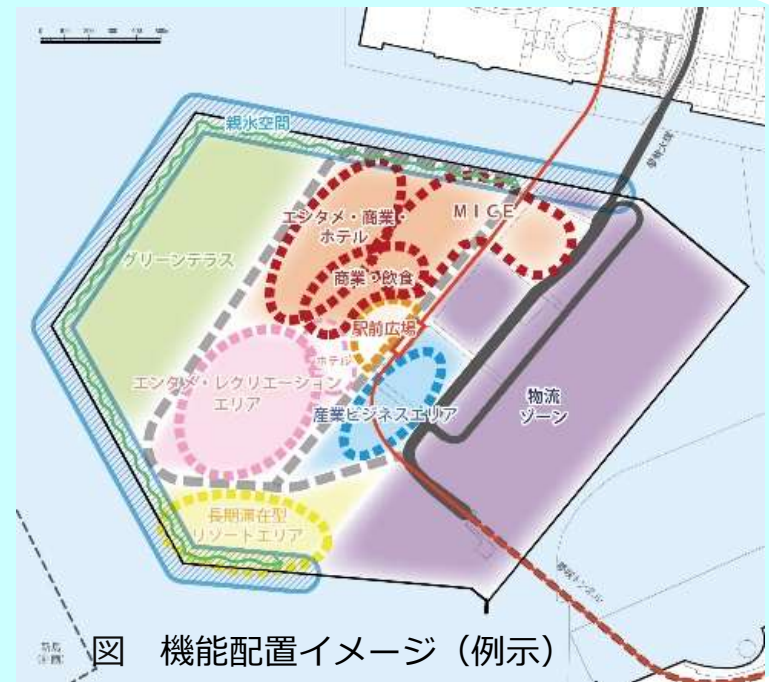


図 機能配置イメージ (例示)

都市基盤 ▶ 確かな技術に支えられたスマートなまちづくり

- 国際観光拠点の形成、最先端産業・物流の集積を支える都市基盤
- 鉄道網の整備による臨海部のアクセス強化
- 快適な道路アクセスとリゾート地にふさわしい魅力ある域内道路
- スマートインフラによる多次元ネットワーク型都市基盤の構築



図 鉄道アクセス

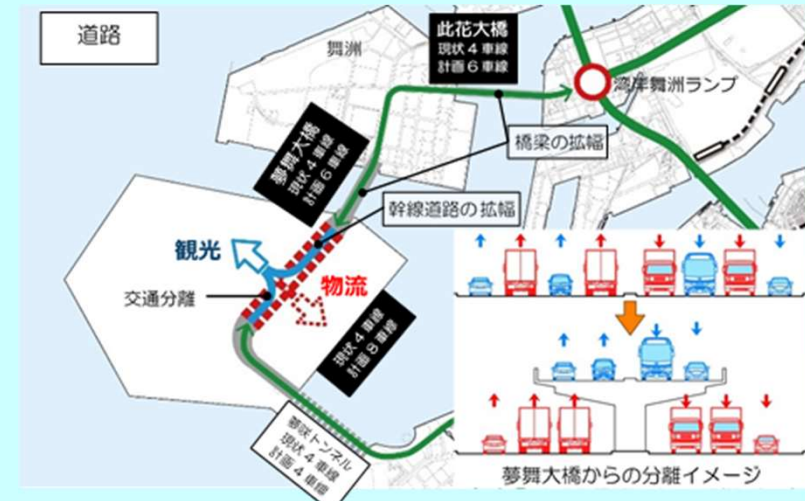
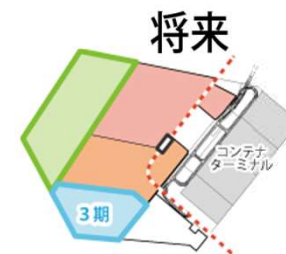
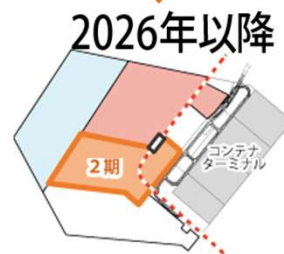
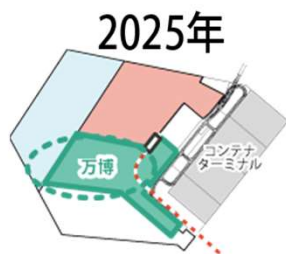
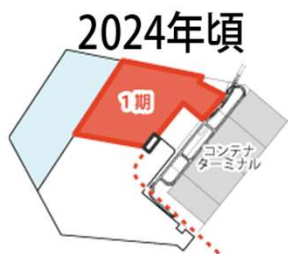
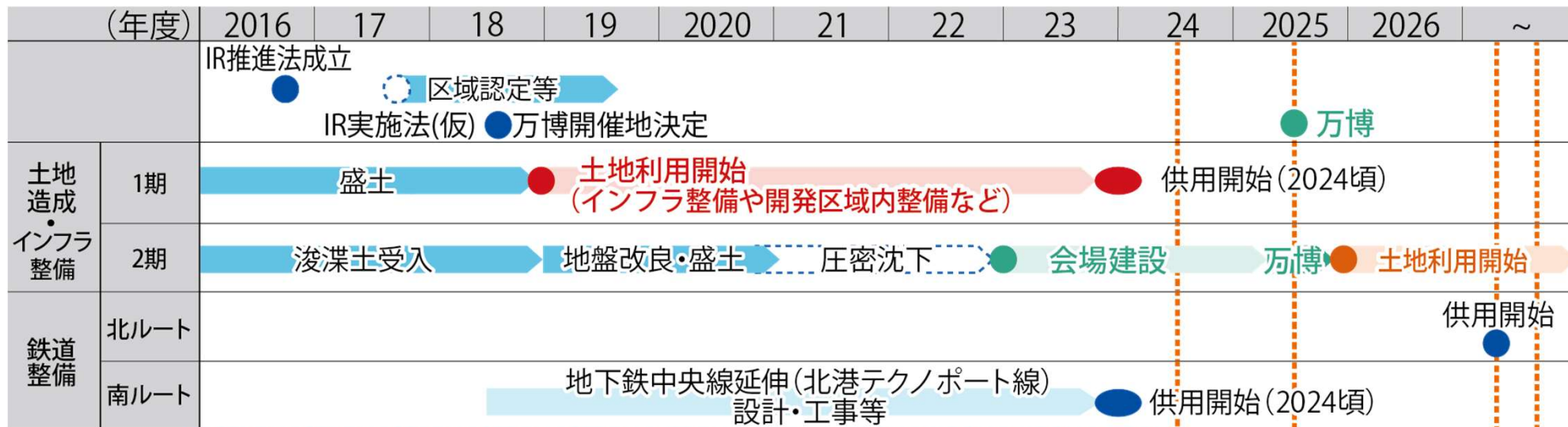


図 道路アクセス

夢洲まちづくり構想 【実現に向けて】

夢洲まちづくりの想定スケジュール

(注) 土地造成の前提条件：1期は早期土地利用を想定、2期は万博が開催される場合を想定



3. 誘致活動について

2025国際博覧会への立候補国

- ・ロシア、アゼルバイジャン、日本の3か国が立候補

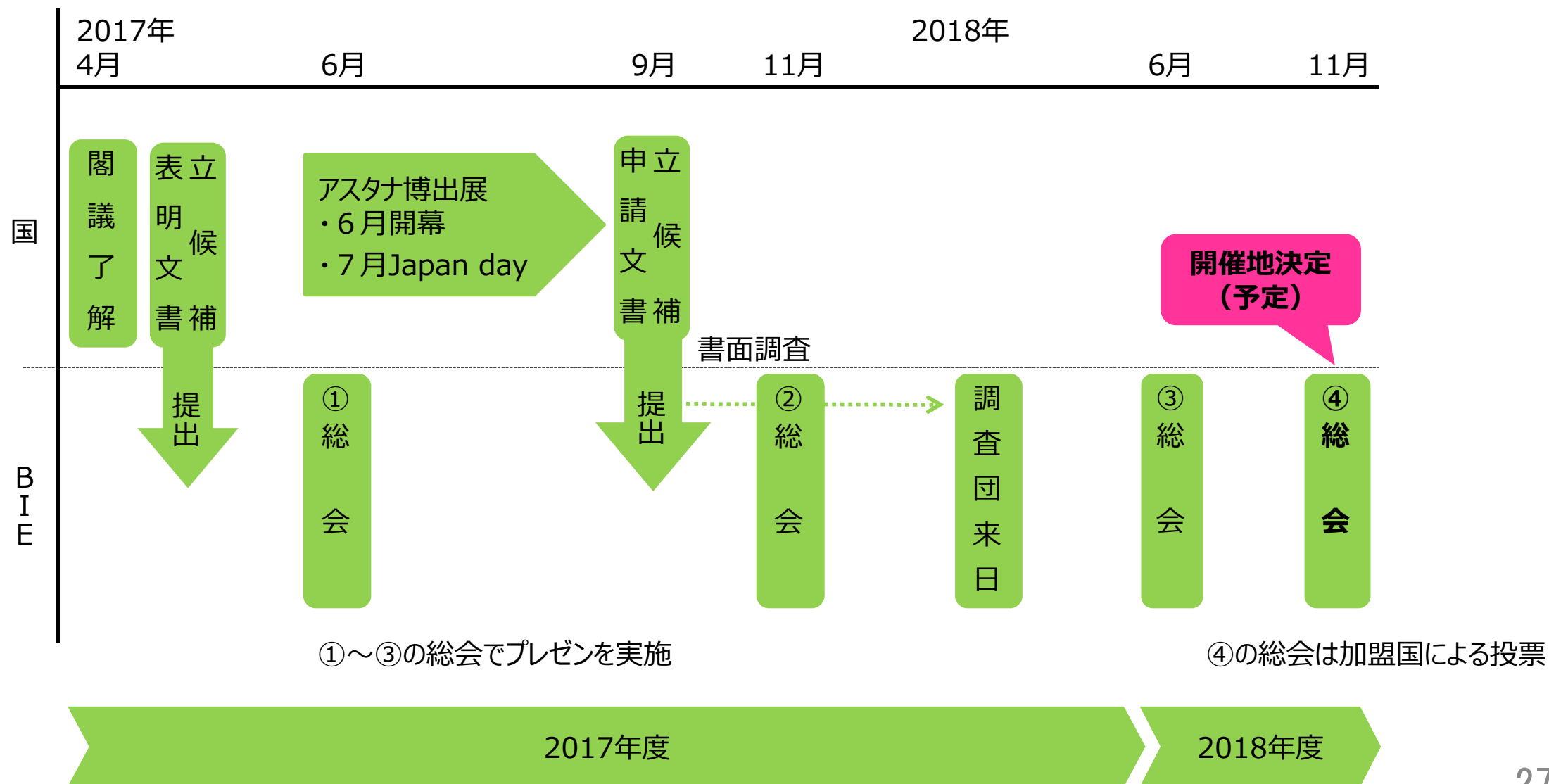
立候補国 (開催地)	日本 (大阪)	ロシア連邦 (エカテリンブルグ)	アゼルバイジャン共和国 (バクー)
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”	世界の変革：将来世代のための イノベーションとより良い生活 “Changing the World: Innovations and better life for future Generation”	人的資本の発展、 よりよい未来の構築 “Developing human Capital, building a better future”
開催期間	5月3日～11月3日想定 (185日間)	5月2日～11月2日 (185日間)	5月10日～11月10日 (185日間)

◆立候補国の位置



スケジュール

- 日本は、2017年4月11日に閣議了解のうえ、**同月24日にB I Eへ立候補表明文書を提出**
- その後、BIE調査団来日、総会でのプレゼン等を経て、2018年秋には開催地決定の見込み。



誘致活動の体制と基本的な方針

- 国と誘致委員会が車の両輪となり、誘致活動を推進
- 国は、外交ルートなどを通じたプロモーション活動を展開
- 誘致委員会は、国と連携したBIE加盟国へのプロモーションと国内機運醸成を展開
- 誘致委員会メンバーは、自らの有するリソースを活用

《誘致委員会》

- B I E 総会でのプレゼンテーション
加盟国へのロビー活動
- 国内の機運醸成
- 国との協力による
B I E 事務局・加盟国の
大阪視察時のアテンド

国として誘致委員会の
事業に密接にコミット

連携・協力

《国》

誘致委員会に対する戦略的な誘致活動の提案
外交ルートを活用した情報収集・提供
誘致委員会と一体化したプロモーションの展開

《自治体/議会》

地元住民の機運醸成
友好交流都市・友好親善議連を通じた情報発信

《民間》

経済活動や企業間ネットワークのフル活用
国内外における万博誘致 P R の展開

B I E (博覧会国際事務局) 加盟国 170カ国

誘致の取組み ～海外誘致活動～

BIE総会でのアピール

【第1回】

- 日 時：平成29年6月14日
- 場 所：パリ（OECDカンファレンスセンター）
- 内 容：安倍首相のビデオメッセージ
誘致委員会の榊原会長・松井会長代行
によるプレゼンテーション など



【第2回】

- 日 時：平成29年11月15日
- 場 所：パリ（OECDカンファレンスセンター）
- 内 容：安倍総理のビデオメッセージ
世界で活躍する在阪企業の女性社員のスピーチ
関西で学んだルワンダ出身の元留学生のスピーチ
吉村市長（誘致委員会副会長）による夢洲の紹介 など



誘致の取組み ～海外誘致活動～

BIE加盟国に対する海外でのロビー活動

【アスタナ博覧会での活動】

アスタナ博覧会の機会をとらえ、各国BIE関係者に大阪・関西での開催をアピール



【国際会議等での活動】

各国ハイレベル要人が多数参加する国際会議等の開催機会をとらえ大阪・関西の開催をアピール



2017.8
アフリカ開発会議
(TICAD)
閣僚会合でのP R



誘致の取組み ～海外誘致活動～

要人来日時等

各国の要人が来日する機会を捉え、大阪・関西の魅力をアピール



2017.4 ASEAN経済大臣等へのPR

友好協力都市等

自治体が有する都市間ネットワークを活用して大阪・関西での万博開催をPR



2017.7
ビジネスパートナー都市へのPR

関西領事団

関西の総領事等との交流会を開催し、万博誘致をPR

2018.3
交流会



親善国表敬訪問時等

各国大使等の自治体への表敬訪問時等に魅力をPR

2017.7 駐日ベラルーシ大使へのPR



誘致の取組み ～国内機運の醸成 具体的取組1～



2017.3 誘致委員会発足式典



2017.5 万博に関する講演会



2017.6 誘致ロゴマーク発表会



2017.11 未来社会デザイン会議



2017.11 御堂筋ランウェイ



2017.11 大阪マラソン EXPO

誘致の取組み ～国内機運の醸成 具体的取組2～



懸垂幕（大阪市役所）



御堂筋バナー

地下鉄構内、民間施設等



道頓堀万灯祭（万博誘致応援提灯）
（協力：いっとこミナミ実行委員会）

誘致の取組み ～ B I E 調査団来日～

- 日 時：平成30年3月5～9日
- 場 所：東京、京都、大阪
- 内 容：日本が B I E に提出したビッド・ドシエ（立候補申請文書）について説明
安倍内閣総理大臣、世耕経済産業大臣等と B I E 調査団との意見交換
茶道裏千家今日庵や会場予定地である夢洲などの視察
関西経済界や商店街関係者との意見交換 など



表敬



中学生スピーチ

【チエ調査団長の記者会見での主な発言】
「調査団の暫定的な考え方としては、良好（ポジティブ）」

～オフィシャルパートナー・サポーターを募集～

2025日本万国博覧会誘致委員会では、誘致活動を支援して下さる

「オフィシャルパートナー」「オフィシャルサポーター」を募集中。

○ オフィシャルパートナー

【協賛特典】

誘致に関わる以下の活動機会での協賛メリット

- i オフィシャルパートナー枠で社名ロゴの掲出
- ii 主催イベント等でPR機会の優先提供（費用別途）
- iii 誘致活動事業、協力委託事業に関する情報提供 など

○ オフィシャルサポーター

【協賛特典】

誘致に関わる以下の活動機会での協賛メリット

- i オフィシャルサポーター枠で社名のみ掲出



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025



World Expo 2025
Candidate

～誘致委員会会員への登録のお願い～

2025日本万国博覧会誘致委員会会員 への登録をお願いします！

企業、学校、団体で登録 → 団体会員、個人で登録 → 個人会員
会費無料・登録はホームページから

2025万博

検索

【誘致委員会会員登録方法（個人の場合）】

2025日本万国博覧会誘致委員会ホームページより必要事項入力・送信

*印は必須項目となります。

法人・個人* 法人 個人

入力例

お名前* 大阪花子 E-mail* hanako@naniwa.ne.jp

お住まいの市町村名、または郵便番号* 大阪市 お勤め先、学校等 ○○株式会社

メールマガジン・イベント案内* 希望する 希望しない

個人情報保護方針* 同意する 個人情報の取り扱いについて

